

長生村DX推進計画

令和7年度（2025年度）～令和9年度（2027年度）



本計画の趣旨

近年のデジタル技術の進展により、一人ひとりの状況に応じたきめ細かいサービスが低コストで提供できるようになり、多様な人が価値ある体験をすることが可能となってきました。一方で、先般の新型コロナウイルス感染症の対応においては、様々な点で行政のデジタル化の遅れが顕在化しました。

技術革新に乗り遅れることなく、今後ますます多様化していく村の課題やニーズに対応していくため、デジタル技術を徹底的に活用することが求められています。

サービスの更なる向上と拡充、地域経済の活性化、業務の効率化に向けて、本村においても「長生村DX推進計画」を策定し、**誰一人取り残されことなく、多様な幸せが実現される社会**を目指し、全庁一丸となってデジタル化に取り組めます。

計画の位置づけ

1. 本村が取り組む**デジタル政策推進の方向性を示す総合的な計画**
2. 官民データ活用推進基本法第9条第3項に規定する、本村における**市町村官民データ活用推進計画**



期 間

令和7年度（2025年度）～令和9年度（2027年度）までの3年間



基本方針

基本方針①

より便利で使いやすい行政サービスの提供

基本方針②

地域社会のデジタルリテラシー向上への貢献

基本方針③

デジタル技術やデータの活用等による地域経済への貢献

基本方針④

役場内部のデジタル化推進

基本施策

- ①デジタル技術を活用したフロントヤード改革
- ②キャッシュレス化の推進
- ③公金収納の推進
- ④データ利活用の推進
- ⑤デジタルによる行政業務の効率化
- ⑥デジタル技術を活用した教育の推進
- ⑦デジタル技術を活用した子ども・子育ての推進
- ⑦情報セキュリティの強化
- ⑧誰一人取り残されないデジタル化
- ⑨デジタル技術を活用した地域活性化

取り組みスケジュール

令和7年度

①公金収納の推進

- ・介護保険システム及び後期高齢者システムのeL-QR対応改修

②デジタルによる行政業務の効率化

- ・戸籍システム・戸籍附票システム、障がい福祉システム、健康管理システムの標準化・共通化

③デジタル技術による地域活性化

- ・AR技術を用いた地域観光資源の有効活用による地域活性化

令和8年度

①デジタル技術と活用した教育の推進

- ・GIGAスクール構想に伴うタブレット端末の更新及びネットワークシステムの更新

②公金収納の推進

- ・財務会計システム及び下水道事業会計システムのeL-QR対応改修

令和9年度

①デジタル技術と活用した教育の推進

- ・GIGAスクール構想に伴う公務支援システムの更新